

【小学校算数 学習単元評価問題 小2 - 】

「たし算とひき算のひっ算(1)」	()くみ ()ばん	名まえ
------------------	----------------	-----

考え方 / 1	技 能 / 7	知・理 / 2	A問題 / 8	B問題 / 2	/ 10
---------	---------	---------	---------	---------	------

1 つぎの^{けいさん}計算をしましょう。

(1)
$$\begin{array}{r} 42 \\ + 5 \\ \hline \end{array}$$

(2)
$$\begin{array}{r} 53 \\ + 29 \\ \hline \end{array}$$

(1)	
-----	--

(2)	
-----	--

(3)
$$\begin{array}{r} 26 \\ - 15 \\ \hline \end{array}$$

(4)
$$\begin{array}{r} 90 \\ - 24 \\ \hline \end{array}$$

(3)	
-----	--

(4)	
-----	--

〔1〕～〔4〕〔技 能〕〔A問題〕

2 学校でなわとび大会が^{たいかい}ありました。1くみと2くみの^{かいすう}とんだ回数は、右のひょうのとおりです。つぎの^{なんかい}もんだいにこたえましょう。

【 とんだ回数 】

1くみ	28回
2くみ	64回



(1) あわせて何回とびましたか。

しき	
----	--

答え		回
----	--	---

〔ひっ算〕

(2) どちらが何回多くとびましたか。

しき	
----	--

答え	くみが	回多い
----	-----	-----

〔ひっ算〕

〔5〕〔6〕〔技 能〕〔A問題〕

「たし算とひき算のひっ算(1)」

解答例及び評価規準，評価の観点，設定通過率一覧

問題 番号	解答例	評価規準	評価の観点等					設 定 通過率 (%)
			考 え 方	技 能	知 ・ 理	A 問 題	B 問 題	
{ 1 }	4 7	繰り上がりのない(2桁) + (1桁)の筆算の計算が確実にできる。						9 5
{ 2 }	8 2	繰り上がりのある(2桁) + (2桁)の筆算の計算が確実にできる。						9 0
{ 3 }	1 1	繰り下がりのない(2桁) - (2桁)の筆算の計算が確実にできる。						9 5
{ 4 }	6 6	繰り下がりのある(2桁) - (2桁)の筆算の計算が確実にできる。						9 0
{ 5 }	式 $28 + 64 = 92$ 答え 92回 ひっ算 $\begin{array}{r} 28 \\ + 64 \\ \hline 92 \end{array}$	加減の用いられる場面について，その区別を明確に理解し，計算することができる。						8 5
{ 6 }	式 $64 - 28 = 36$ 答え 2くみが 36回多い ひっ算 $\begin{array}{r} 64 \\ - 28 \\ \hline 36 \end{array}$	加減の用いられる場面について，その区別を明確に理解し，計算することができる。						8 0
{ 7 }	「たされる数」 「たす数」 「同じ」	答えの確かめの式をもとに加法の交換法則を理解することができる。						7 5
{ 8 }	「ひく数」 「答え」 「ひかれる数」	答えの確かめの式をもとに減法の相互関係を理解することができる。						7 5
{ 9 }		順思考の問題場面を表されたテープ図を適切に選ぶことができる。						7 0
{ 10 }	式 $23 - 8 = 15$ 答え 15こ	テープ図をもとに，(2桁) - (1桁)の計算をすることができる。						7 5
合計 10 問			1	7	2	8	2	83.0